



賛美

「神の家族」

「私たちは一つ」

「善き力に」

「主は我らの太陽」

「とこしえまで」

献金

牧会祈禱&主の祈り

聖書箇所 ヨシュア記6章1節~7節 佐々木朱美

メッセージ「輝き続ける教会⑧ ときの声をあげよ」

関真士牧師

賛美

「叫べ全地よ」

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 次週の礼拝では、聖餐式が持たれます。
- 連合賛美フェスティバル 6月8日(土)9:30AM 会場: マキキ聖城キリスト教会 ぜひ、ご参加ください。一緒に賛美して下さる方も募集中です。
- 英語部のランディ・ヤング先生は、5月末日をもって引退されます。6月1日(土) 送別会が持たれます。5PM受付 5:30PM ポトラックディナー 6:30PM—8:30PM 感謝会 送別会に参加される方は登録をお願いします。礼拝受付、関牧師かノリコさんに声をかけてください。
- 公示 ホノルル・キリスト教会日本語部年度総会開催のご案内 日時:2024年6月23日(日)礼拝後 会場:教育館1階ソーシャルホール

献金



風の吹くままに

▼教会は、常に、アウトプットとインプットのバランスが大切です。人間の身体と同じように適度な栄養と適度な運動が健康をもたらします。キリストの体である教会も同じです。私たちは、神の恵みを一杯に受けて、そしてその恵みを分かち合っていくのです。受けることも与えることも、両方が大事です。

愛されて、愛して、愛が循環しているのが神の国です。私たちの宣教とは、この神の国をこの世に拡げていくことなのです。

自分にとって、キリストの愛を分かち合うとは、実際にどのような事なのでしょう。それぞれの置かれた場所で、立場で、賜物で、みんなその愛の現れは違うでしょう。その人にしか現わせない愛の形があります。何気ない日常の中で、特別な出来事の中で、自分が、そこにいる意味は、キリストの愛を現わすためです。

そこに聖霊は注がれ、私たちに愛する力をくださるのです。



関真士牧師

sekishinji89@gmail.com

## 2023年度聖句

神の命令を守ること、それが神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。1 ヨハネの手紙 5章3節

### スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



### 分かち合いのポイント

①クリスチャンになる前、あなたと神との間にはどんな壁がありましたか。その壁に名前を付けられますか。どのようにしてその壁は崩れましたか。

②宣教するときに「聖霊の働きを邪魔しない」という事について考えたことを分かち合いましょう。

③祭司と戦士が契約の箱の前を進んだということは、使徒の働き4:29～31の祈りにつながります。このような祈りを捧げることができますか。

## ヨシュア記6章1節～7節

エリコはイスラエルの子らの前に城門を堅く閉ざして、出入りする者はいなかった。主はヨシュアに告げられた。「見よ、わたしはエリコとその王、勇士たちをあなたの手に渡した。あなたがた戦士はみな町の周りを回れ。町の周囲を一周せよ。六日間そのようにせよ。七人の祭司たちは七つの雄羊の角笛を手にして、箱の前を進め。七日目には、あなたがたは七回、町の周りを回り、祭司たちは角笛を吹き鳴らせ。祭司たちが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、あなたがたがその角笛の音を聞いたら、民はみな大声でときの声をあげよ。そうすれば町の城壁は崩れ落ちる。民はそれぞれ、まっすぐに攻め上れ。」又の子ヨシュアは祭司たちに呼びかけた。「契約の箱を担ぎなさい。七人の祭司たちは七つの雄羊の角笛を持ち、主の箱の前を進みなさい。」そして民に言った。「進んで行き、町の周りを回りなさい。武装した者たちは主の箱の前を進みなさい。」

### 引用聖句

1コリント6章19節～20節

使徒の働き4章29節～31節

## ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822

日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email: [office@honoluluchristian.church](mailto:office@honoluluchristian.church)



## ホノルルキリスト教会 2024年5月26日

# 週報



### 詩篇103篇1,2節

わがたましいよ 主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ 聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ 主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。